様式１－１

［報告書］

実践校に関する事項		
学校区分	**学校名**	**学校長名**
高等学校	明誠高校和歌山白浜SHIP	藤藪庸一
学校所在地		
（〒　６４９－　２２１１　　）　和歌山県　西牟婁郡　白浜町　３１３７－８ tel　０７３９　(４３)８９８１　　fax　　(　　)		
担当者名		**役職名・担当教科**
十河　　崇		講師・数学

研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	**学習支援者等（延人数）**	**主な活動場所**
学年1,2,3年生　7　名	**6名　　職員　2名**	高野山
実践研究テーマ		
高野山の歴史や仏教芸術それに関わる人々の信仰		
実践教科等名	**単元名**	
特別活動	高野山と仏教芸術それに関わる人々の信仰	

〔キーワード〕熊野古道　高野山

〔単元目標〕高野山の建造物や遺産を訪ねそれらの意味や歴史について知る。

〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び　学習活動名／教材名）〕

全体　１０**時間**　（「　熊野古道の歴史や仏教芸術それに関わる人々の信仰　」　　８　　**時間**　）

〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕

和歌山県世界遺産協議会事務局の方にお越しいただき、事前学習を行った。

高野山見学当日も語り部等のお世話を頂くとともに、ご一緒いただきご指導頂いた。

様式１－２

［報告書］

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	事前学習	文化遺産センターの方による事前説明	アンケート等
2	現地学習	世界遺産協議会の職員や語り部の方に説明を頂きながら高野山の仏教施設を見学する。	レポート
3			
4			
5			

〔単元学習の成果と課題〕

・高野山の歴史的な遺産に実際に触れることができ、その歴史的な意義や芸術性について知ることができた。
・普段できない体験や人との交流ができ、生徒の体験の幅が広がった。
・1月の総合的な学習の時間に行う、熊野古道大辺路ルートと仏教芸術の学習に繋げていきたい。

〔世界遺産学習の効果〕

・日本史や地理で学習した、空海や真言密教について実際に現地を見学することでより理解が進んだ。
・世界遺産を学習することで、文化遺産の重要性や保存の意義について学ぶことができた。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

・生徒にとって貴重な体験となったので、できれば、来年度もこの学習を続けていきたい。
・熊野古道大辺路ルートの学習にも今後繋げていきたい。

様式２

令和６年度　「次世代育成事業」における学習記録　　［報告書　　学習記録・活動写真］

高野山 霊宝館 ミュージアム
Koyasan Reihokan
Museum